

2026年6月24日
株式会社エコグリーンホールディングス

草加市と共同で新入社員研修を実施しました。

株式会社エコグリーンホールディングス(本社:東京都中央区、代表取締役:石井光暢、以下「当社」という。)では、今年4月に入社した新卒社員3名を対象に草加市役所と共同で、新入社員研修(以下「本研修」という。)を行いました。本研修は6月8日、9日の2日間に渡り、1日目は草加市の視察、2日目は視察をもとにプレゼンテーションを行いました。当社は草加市の「そうかSDGsパートナー」※1として認定されています。

本研修では、草加市で唯一の市街化調整区域である「柿木・青柳エリア」(以下「エリア」という。)を舞台に、エリアの課題やポテンシャルを確認し、まちづくりを進める上で、当社の事業がどのように貢献できるか考え、提案することがタスク。草加市では、2026年3月にエリアのランドデザインを策定、同デザインに描かれたまちの将来像「SOKA Green Park Town」の実現に向けて今後まちづくりがスタートしていきます。

このような中、当社から草加市へ公民連携に資する取り組みとして提案し、本研修を実施する運びとなったものです。

本研修初日は小雨がパラつく中、市職員の方に案内していただき、エリアの特長や課題などに加え、現在進めている取り組みなどについて説明を受けました。新卒社員はエリアにおける主な課題・ポテンシャル(可能性)を考慮しながら、当社事業をベースとしたアイデアを検討し、翌日のプレゼンテーションでは、エリアのもつさまざまな特長・課題を検討したうえで、新卒社員が「フラワーパーク構想」、「木質ペレット製造」、「アプリ開発」などのアイデアを盛り込んだ内容を発表しました。

市職員からは「若い方からクリエイティブな提案をいただいたことがありがたかった。立場上なかなか思いつかない提案で、新たな公民連携に向けたヒントにしたい」、「これからは公民連携が重要になってくると考えている。短期はもちろん、中長期の目線で企業と行政と一緒に未来を作っていくことが大切だと思う」とそれぞれコメントをいただきました。

当社グループでは、今後も卓越した木材のリサイクル技術や森林再生のノウハウなどを生かし、地域行政の持つさまざまな課題に寄り添い、解決に向けて貢献していきます。



△そうか公園を現地視察



△市職員の前でプレゼンテーション

<参考> 埼玉県草加市 概要

草加市は、東京都足立区に隣接する人口約 25 万人の都市であり、都心から 15km 圏内に位置し東武スカイツリーラインで東京メトロ日比谷線や半蔵門線へ直通するため、通勤や通学に便利なベッドタウンとして発展しています。10年前から「リノベーションまちづくり」という事業を進めており、草加駅東口旧道沿道エリアを皮切りに、今では谷塚駅周辺エリアや新田駅周辺エリアにも少しずつ広がりを見せ、全国各地の自治体等から毎年多くの方が視察に訪れるまちへと進化を遂げています。

※1 「そうか SDGs パートナー」制度

草加市は、内閣府から「SDGs 未来都市」として認定を受けた先進的なまちづくりを進めています。その一環として、市内企業や団体とともに課題解決に取り組む「そうか SDGs パートナー」制度を展開し、すでに 100 を超える団体が登録されています。当社は、2024 年 10 月 31 日に第2号として認定を受けております。